

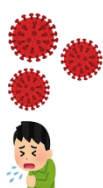
## 令和3年4月26日（月）コロナ禍での人権教育

コロナ感染拡大が間近に迫ってきたことを受け、5限目に全校学習「人権教育：ウイルスの次ぎにやってくるもの」を学習しました。体育館に集合して、「不安な気持ちから感染した人や地域を差別することで安心するが、次ぎに、自分が発熱しても誰にも言えない恐怖となること」を全校で学習しました。その後、各学級で担任と①「感染した人への思いやりのない言動」と②「コロナ禍で勇気づける言動」について話し合いました。

4年生では「コロナ感染した後、登校してきた友だちを安心させる言葉や行動は？」と具体的な場面を想定して思考を巡らせた対話をしていました。最後に、「もし感染したとしても安心して伝えられるし、治ったら学校へ来ることができます。」との言葉が心に染み入りました。




① 感染者が不安になる  
「おもいやりのない言動」とは・・・



感染者さがし  
差別・偏見  
デマやうわさの拡散  
原因の責任追及  
個人情報の流出



② コロナ禍の中で、勇気づけるものは？

- ・ はげましのメッセージ 
- ・ コロナ感染が治ったときに、語り合うことば  
(感染終息の時を語る) など